

模擬 G7 サミット 2021 を終えて

テーマ：Gender Equality 職場での女性エンパワメント、今中高生の私たちができること

日時・場所：8月17日9:30~16:00 オンライン

参加校：大阪市立豊崎中学校、大妻中野高等学校、春日井市立鷹来中学校、熊本県立熊本商業高校、慶應湘南藤沢中等部、神戸市立葺合高等学校、埼玉県立大宮高等学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、渋谷教育学園幕張中学高等学校、洗足学園中学高等学校、多摩大学目黒高等学校、東京大学教育学部附属中等教育学校、東洋英和女学院高等部、栃木県立佐野高等学校、富山市立南部中学校、広島女学院高等学校、本郷高等学校、早稲田佐賀高等学校、Beijing National Day School（中国）、Loreto College（オーストラリア）、Yobhel Christian Academy（フィリピン）、Pearson College UWC（カナダ）、Poona College（インド） 計23校

運営委員：池田碧月、石井誠子、江口花音、栗原璃音、児玉慎吾、清水萌絵（以上6名 渋谷教育学園渋谷高等学校2年）

ファシリテーター：伊藤優希、河村すず、久米本紗季、柴田瑚子、中村香音、二井春香、吉村美咲（以上7名 渋谷教育学園渋谷中学高等学校）

今年の模擬 G7 サミット(Model G7 summit 2021) では世界6か国から51名の中高生が集い、政治・経済界における女性の社会進出について意見を交わしました。

開会式では、小林りんさん（UWC ISAK Japan 代表理事）からの参加者へ向けたビデオメッセージを紹介しました。仕事と育児の両立の難しさや、困難に直面しても強い意志をもち続けることの大切さが参加者の皆さんに伝わったようでした。次に石川智尋さん（秋からハーバード大学院へ進学予定）をキーノートスピーカーとして迎え、フェミニズム全般についてお話していただきました。質疑応答も活発に行われ、参加者の皆さんのジェンダー平等に対する関心の高さがうかがえました。その後、運営委員がクイズを交えて現状の問題点や原因、政府の対策についてプレゼンテーションをしました。また、ジェンダー論を専門とする瀬地山角さん（東京大学教授）が作成くださった、高等教育における男女格差の原因に関するビデオレクチャーも紹介しました。参加者の皆さんが熱心に聞いていることが画面越しに伝わってきました。

その後はグループディスカッションに入り、参加者の中高生は「実現可能で効果的、そして社会に受け入れられるような行動計画を高校生独自の視点から考える」という課題に取り組みました。今回は英語で話し合うグループを4つ、日本語で話し合うグループを2つ設け、発表は日本語で話し合ったグループも全て英語で行いました。年配者に対する教育、エンターテインメントやSNSを通じた社会啓発活動、中高生によるNGOの発足など、様々な角度からの考察が見られ、ジェンダー平等を実現しようとする中高生の意欲が感じられました。

閉会式では、J7サミット2015日本代表として独メルケル首相と意見交換した足立愛音さんと石川智尋さんから講評をいただきました。「様々な国の高校生と議論することができ、充実した時間を過ごすことができた」などの感想が寄せられ、参加者にとって実りのある一日になったことを嬉しく思います。最後になりましたが、世界各地の中高生やゲストの皆様をはじめ、このサミットを成功へ導いてくださったすべての方々へ感謝申し上げます。

（文責 石井誠子）

